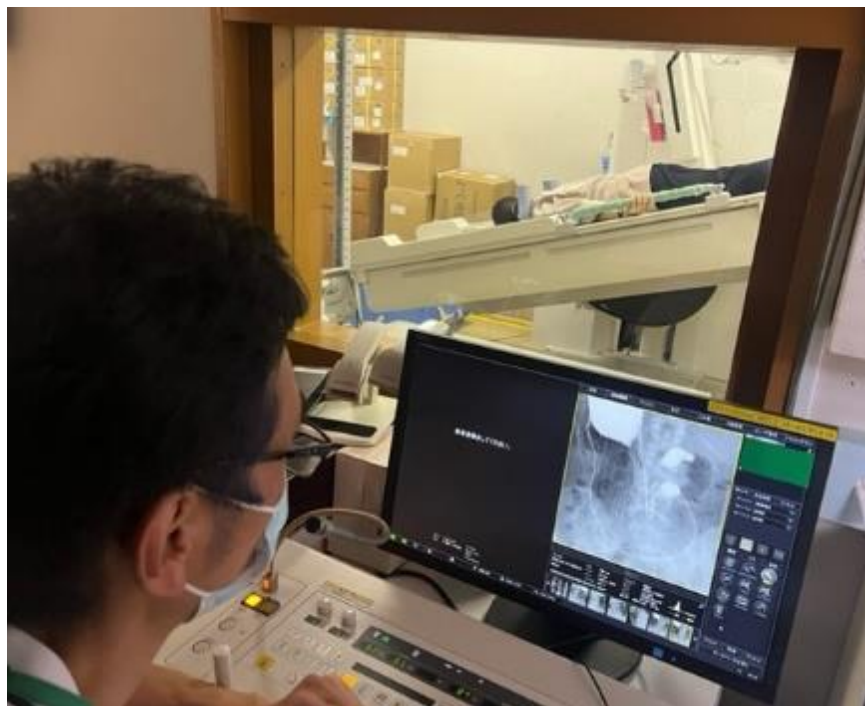




千田技師のプロフィール  
 出身地：北海道（奥尻島）  
 昭和62年4月に入社し、現在に至る（35年勤務）  
 趣味：野球観戦（エンゼルス大谷選手のファン）  
 相撲観戦（北勝富士関のファン）  
 サウナ

所沢市市民医療センターでは、医師を中心に、多種多様な技術を持つスタッフが活躍しています。  
 今回は、そんなスタッフの一人である放射線科の千田技師に、お話を伺いました。



◆放射線科とは

ドラマ「ラジエーションハウス」でも話題となった診療放射線技師です。レントゲン、CT、マンモグラフィ、バリウム検査等を行っています。装置を使って病気を探し、人間ドックでは健康な人のがん等をできるだけ早く見つけ、早期治療に繋がられるように日々努力しています。

CTやマンモグラフィは、決められた体位で撮ることが多いです。一方、バリウムを使った胃の検査は、体を動かして、バリウムが胃の壁を伝う一瞬を逃さずに撮ります。

◆バリウム検査について

バリウム検査の撮影は、より技術が求められるため、腕の見せどころです。自分は今これ30年くらい撮影しています。…ちょっと頑張っている方かなと思いますが、何年経っても日々勉強です。

バリウム検査に年齢制限はないのですが、高齢になると検査後の便を出すのが大変になってきます。便秘の人、3〜4日に1回とか便が硬い人には、バリウムは控えた方がいいということもあります。

検査自体は何歳でも出来ます。85歳の方でも、皆さんと同じ動きでやっていただいています。検査が終わった後、「今年もできたよ」という自信に満ちた、笑顔を見ることが出来ます。

◆当センターの放射線科の特徴は

健康診断・人間ドックですね。いい機械も入っているし、いい研修を受けているスタッフが多いです。自分たちで言うのもなんですが、画像もいいし、腕もいいよという感じですよ。（笑）

◆放射線科には女性スタッフがが多いように感じます。

ここ10年、15年くらい前からです。現在、放射線科には、3名の女性技師が在籍しており、マンモグラフィの撮影を担当するなど女性に配慮した検査を行っています。

# センタースタッフインタビュー

診療放射線技師として働いている千田さん。お話を伺っていると、業務時間外に有志の職員を集めて、お花を植えているそうです。



◆お花を植え始めたきっかけは？

20年くらい前に、医療センター職員の有志で、土・日に集まって花壇の花の植え替えをやっていた時期があり、それに参加したことがきっかけです。

当時は不定期で、職員以外に近所の方も参加されて、総勢20人くらいで花壇の植え替えをしました。

作業後にブルーシートを敷いて、お茶菓子とジューズで「どうも、どうも、お疲れ様でした」という締めでした。

◆お花の管理はどうされているんですか？休日代わりやってくれる方とかいるのですか？

水やりに関しては、金曜日と月曜日にいっぱい水をあげるようにしています。休日は、近所の方が水をまいてくれることがあります。

夕方になると、近隣住民の方や、花壇に花を植えたり、草むしりをしてくださいます。先日の土曜日、近くを通りがかった際に水をまいていたら、近所の方がいらして感謝されました。(笑)

医療センターの花壇は、地域の皆さんの花壇になっっているのだと、嬉しく思いました。

◆始めたことで変化はありましたか？

やはり、きれいなものは、手間をかけることよりきれいになりますね。雑草も生えてくるし、それを取ってあげようという気持ちにもなる。

花に水をやっているのと、「お疲れさま、ご苦労さま」と知らない人に声を掛けていただいたり、「きれいですね」と言っていただけ。それだけでとても嬉しいです。そういう人との繋がりが薄れてきていると感じる世の中なので、余計に嬉しいです。

病院なので、普通よりも体の調子が悪い時や、気分が上がらない時もある中で、花を見て「きれいだな」と思っていただけで十分かなと思います。

◆最後に

花一つとっても、きれいだねって言える、心・気持ちの余裕が必要だと思います。

花の世話をしていると、だんだん花がかわいくなってきました。仕事以外で少しでもあったかい気持ちになればいいのかなと思います。

自分が花を一つ植えると、誰かが花を見に来るんです。そして、お世話もしてくれるようになります。何か面白い事、何かひとつやりだせば、きっとそこから花が咲くんですよ。

人と人とが繋がって、広がっていきける世界であって欲しいと思います。